

東京医師アカデミー クリニカルフェロー

<内科系>循環器一般コース 募集要項

1)応募資格	<p>令和3年4月時点で6年以上の医歴があり、以下のすべての要件を満たしている方</p> <p>①「内科認定医（日本内科学会）」資格を有する方 ②「日本循環器学会専門医」資格を有する方（取得見込みでも可） ③ 循環器の非侵襲検査及び心臓カテーテル検査を実施できる方 ④ 1編以上の循環器に関する論文発表（掲載予定でも可）があること。</p>
2)募集人員	1名程度
3)所属先	東京都立広尾病院
4)研修期間	3年間
5)選考日	令和2年11月2日（月）（予定）
6)選考会場	応募者に直接連絡いたします。
7)選考方法	個別面接（20分程度）、口頭試問（20分程度）
8)合否連絡	選考後3週間以内に合否をご本人にご連絡いたします（合格通知後1週間以内に誓約書の提出をお願いいたします）。
9)応募方法 提出書類	<p>以下のものを申込期限までに下記 11)の申込先に郵送すること。</p> <p>1 応募用紙兼履歴書 2 医師免許証の写し 3 認定医・専門医等の資格証明書の写し 4 推薦状2通（現所属病院の循環器科責任医師分を含む） ※提出いただいた書類はご返却できませんので予めご了承下さい。</p>
10)申込期限	令和2年10月5日（月）必着
11)申込先及び 問合せ先	<p>〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎24階中央 病院経営本部経営企画部職員課医師アカデミー担当 （電話）03-5320-5861</p>
12)コース内容 に関する 問合せ先	<p>渋井 敬志（東京都立広尾病院 循環器科部長） （電話）03-3444-1181（代表）</p>
13)備考	選考日当日は、医師免許証の原本を持参すること。

循環器一般コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都立 広尾病院	
連携して研修する病院・施設 (予定)	多摩総合医療センター、公社大久保病院、公社豊島病院など	
研修時に必要とする知識・技量 (応募資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月時点で6年以上の医歴があること。日本内科学会認定内科医を取得していること。 ・日本循環器学会専門医を取得(取得見込みでも可)しているか、相当する知識及び技量を有すること。 ・学会誌もしくはそれに準ずる学術誌に1編以上の循環器に関する論文発表(掲載予定でも可)があること。 ・基本的な循環器科領域の非侵襲的検査(心エコー、運動負荷検査等)と心臓カテーテル検査一般(穿刺・カテーテル挿入・冠動脈造影・各造影検査、電気生理学的検査等)が実施できること。 	
コース 責任者	氏名 (所属)	洪井 敬志 (東京都立広尾病院 循環器科部長)
	資格名	日本内科学会認定内科医・指導医、総合内科専門医 日本循環器学会認定循環器専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医・専門医・代議員
	専門分野	心臓病一般、虚血性心疾患、心臓カテーテル検査、PCI、EVTなど
臨床指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器内科を必修 ・指導医含め3-4名程度のグループ制となっており、一般病棟とCCUの症例を担当医として受け持つ。 ・毎日朝夕行われるCCUカンファレンス、毎週施行される入院症例ケースカンファレンス・シネアンギオカンファレンス・不整脈カンファレンス・抄読会を通じ循環器疾患全般の専門的知識を習得 ・不整脈専門医の深水Dr、北條Dr、北村Drが非侵襲的な不整脈検査、電気生理学的検査、カテーテルアブレーション、各種デバイス植え込みを指導 ・心血管インターベンション治療学会専門医の洪井Dr、土山Drが循環器として修得すべきカテーテル検査、カテーテルインターベンションを指導 ・臨床研究と論文作成の指導を行う。 	
臨床研究	これまで 行ってきた 研究と実績	<ul style="list-style-type: none"> ・致死的不整脈の予知における電気生理学的検査の有用性 (Jpn Circulation J など)に報告 ・致死的不整脈の余地における加算平均心電図の有用性 (J Electrocardiology など)に報告 ・ブルガダ症候群の臨床的および電気生理学的特徴 (J cardiovasc pahrmacology, J cardiovasc electrophysiol, Heart Rythmなどに報告、日本循環器学会ガイドライン作成に協力) ・QT延長症候群の臨床的及び電気生理学的特徴 (日本循環器学会ガイドライン作成に協力) ・脚枝間リエントリー性心室頻拍の電気生理学的特徴とカテーテルアブレーション (Europaceなどに報告) ・PCIにおけるエキシマレーザーの臨床応用 (Lasers in Medical Science)に報告 ・OCT(光干渉断層装置)を用いたVirtual FFR(冠血流予備量比)測定によるPCI妥当性の評価(発表準備中)
	今後行う 研究と 研究体制	<ul style="list-style-type: none"> ・3次元マッピングを用いた、不整脈発生基盤の検討とカテーテルアブレーション ・ブルガダ症候群の臨床的、電気生理学的特徴と予後 (多数例のデータベースあり) ・遺伝性不整脈の遺伝子と臨床的、電気生理学的特徴との関係 (他施設と共同研究) ・心外膜下ブローチによるカテーテルアブレーション ・持続性心房細動に対する薬物治療、カテーテルアブレーションの効果 ・超薄型ストラット薬剤溶出ステントと薄型ストラット薬剤溶出ステントの実臨床条件下における無作為化比較研究 (他施設と共同研究) ・橈骨動脈アプローチ(TRA)と遠位橈骨動脈アプローチ(dTRA)における灌流指標(PI)による橈骨動脈閉塞頻度の検討
研修項目	<ol style="list-style-type: none"> (1)担当医として入院患者を担当し外来診療・救急診療に携わる。 (2)心エコー・運動負荷検査・核医学検査・加算平均心電図・T wave alternansなどの非侵襲的検査 (3)心臓電気生理学的検査:年間200件程度、カテーテルアブレーション:術者または助手として年間100件程度、植込み型デバイス治療 術者または助手として年間25件程度 (4)冠動脈造影:術者又は指導的介助者として年間200件程度、カテーテルインターベンション:術者または助手として年間75件程度 (5)学会・研究会での発表(年3回以上) (6)英文を含む論文執筆(年間1編以上) (7)ジュニアレジデント及びシニアレジデントの指導 	
研修内容・達成目標	<ol style="list-style-type: none"> (1)心電図および心臓電気生理学的検査・冠動脈造影検査診断能力の向上 (2)カテーテルアブレーション (a 上室性、b 心室性、c 心房細動)の技術修得 (3)カテーテルインターベンション技術の習得、インペラを含む補助循環管理の習得 (4)植込みデバイス治療 a ペースメーカー植込み、b ICD植込み、c CRT植込み の技術修得 (5)未取得である場合は日本循環器学会専門医を取得、更に不整脈専門医又はCVIT認定医を取得できる能力を得る。 (6)循環器関連の臨床研究を行い、国際学会発表、英文論文を作成する。 	
コース内容に関する 問合せ先	洪井 敬志 (東京都立広尾病院 循環器科部長) TEL:03-3444-1181(代表)	